

NEWSLETTER

2019.3.31

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

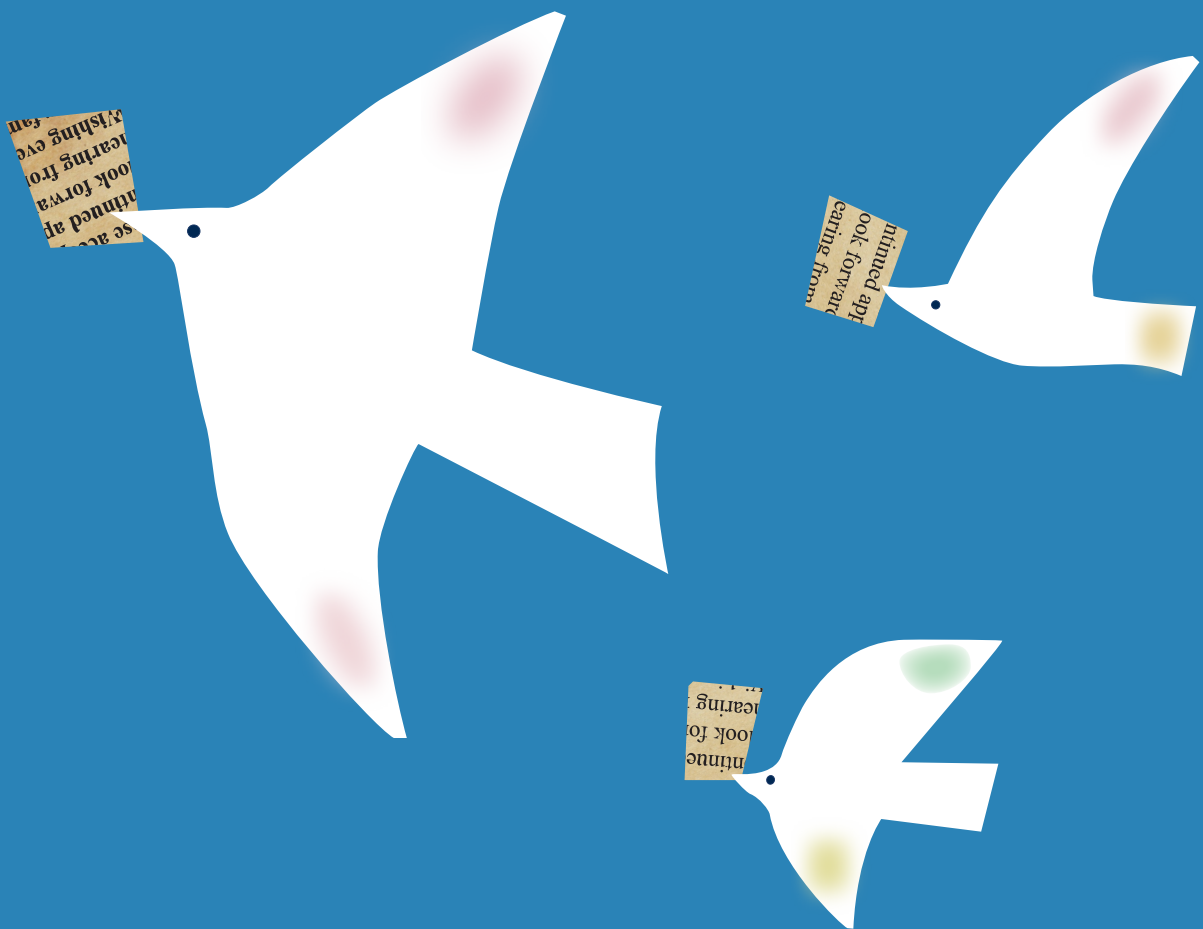
第37回 日本顎咬合学会学術大会・総会

真・顎咬合学 最新歯科医療最前線—夢ある歯科界の再構築

公開フォーラム I・II

4～8

- 第37回 日本顎咬合学会学術大会・総会
海外演者抄録 / 咬合器展示 / 事前参加登録のご案内 …… 2, 3
- 2018年度支部学術大会報告 …… 9～11



81



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 ニュースレター No.81

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201 TEL: 03-6683-2069 FAX: 03-6691-0261
ホームページ URL: <http://www.ago.ac/>

第
37
回**日本顎咬合学会 学術大会・総会**

真・顎咬合学 最新歯科医療最前線 ―夢ある歯科界の再構築

2019.6.22 (Sat).23 (Sun)

東京国際フォーラム

事前参加登録 受付開始 2018.12.3

特別講演

Horizontal and Vertical Ridge Augmentation —— myths versus reality

水平的垂直的顎堤造成術 —— 幻想と真実

**BACH LE DDS, MD, FICD****略歴：**

1990：カリフォルニア大学アーバイン校卒業

1990-1994：USC 南カリフォルニア大学歯学部 歯科医師免許取得

1994-1995：オレゴン・ヘルスサイエンス顎顔面口腔外科インターン

1995-1998：オレゴン・ヘルスサイエンス大学医学部 (Oregon Health Sciences U. School of Medicine)

医師免許取得

1998-1999：シーダー・サイナイ医療センター一般外科勤務

1994-2000：オレゴン・ヘルスサイエンス大学・顎顔面口腔外科レジデント

2000- 現在：USC 南カリフォルニア大学歯学部顎顔面口腔外科臨床准教授

2000-2013：南カリフォルニア大学 LAC 病院顎顔面口腔外科レジデント教育

講演抄録

水平的垂直的顎堤造成術のための多くのテクニックと多様な造成用材料が言及されてきた。この中には、GBR 骨誘導再生術、リッジ・イクスパンション、リッジ・スプリット、自家骨アンレーグラフト、チタンメッシュ、仮骨延長術、嵌入型骨移植などが含まれる。多くのテクニックが特定の状況で素晴らしい結果を出しているにもかかわらず、成功を保証できると言えるものは少ない。移植骨に埋入されたインプラントに最も予知性のある結果をもたらす方法はどれか、未だ多くの疑問点が残されている。今回の講義の目的は、水平的垂直的顎堤骨欠損部にインプラント埋入を行う際に使う多くの骨造成術のうち、予知性の高い方法を見極めるために今日のエビデンスを批判的に評価することである。集めた一連の症例から、リスク評価と中程度から重篤までの多様な大きさの厳しい骨欠損に予知性のあるマネージメントをする方法をお話する。

特別企画 咬合器展示

テーブルクリニック会場内(ホール E)に、咬合器を特設展示いたします。

*** ナソロジカル・インスツルメントと全調節性咬合器**

歯科界の遺産であり近代咬合学の創始者である McCollum の「Gnathoscope 咬合器」、Granger の「Gnatholator 咬合器」、Stuart の「Gnathological Computer」を常設展示します。また、「Denar Pantronic」と、Lee の開発した「タービンシステムの顎頭運動描刻装置」の展示もいたします。今回の特別展示は、日本で考案された咬合器の特集です。

「中原式下顎運動性咬合器」「矢崎式咀嚼運動器」「沖野式解剖学的各個調節咬交器」「坪根式調節咬交器」「堀江式咬合器」「COSMAX 咬合器」「バランス咬合器」「ハナウテレダイシステム 154 咬合器」「BGN 咬合器」「ディナーナソマチック咬合器」他 ご期待ください。

【講 師】**河津 寛、田端 義雄、本平 孝志****■レクチャー時間**

6 月 22 日 (土) 14:45 ~ 15:15

6 月 23 日 (日) 10:35 ~ 11:05

14:45 ~ 15:15

事前参加登録のご案内

事前参加登録期間

2018年12月3日（月）～2019年5月21日（火）まで

※参加費払込期日：5月28日（火）

※締切後のお申込みはお受けできません。締切後は、会場の当日参加登録受付にお越しください。当日参加登録は、かなりの混雑が予測されますので事前参加登録をお勧めします。

※事前参加登録のキャンセルはお受けできません。またご入金いただきました参加登録費のご返金もできませんので予め、ご了承ください。

事前参加登録方法

学術大会ホームページ <http://www.ago.ac/37th/>

ホームページまたはFAXでのお申込みとなります。メール、電話でのお申込みはお受けしておりません。

お支払い方法

○事前参加登録 → 【HPの場合】クレジットカードまたはコンビニ決済
【FAXの場合】コンビニ決済のみ

※コンビニ決済をご選択された場合は、代行業者「SMBCファイナンスサービス」より
払込用紙をお送りさせていただきます。

○ご登録は、ご入金をもって完了となります。

払込期日までにご入金がない場合は、当日参加登録受付にて再度手続きください。

○当日参加登録 → 現金払いのみ（クレジットカードはご利用いただけません）

学術大会参加費

会員歯科医師	27,000円
会員歯科技工士	12,000円
会員歯科衛生士	12,000円
準会員	無料
非会員歯科技工士	15,000円
非会員歯科衛生士	15,000円
歯科助手	12,000円
非会員臨床研修医・非会員学生※	無料

※非会員臨床研修医・非会員学生への抄録集配布はございません。必要な場合は、当日1部1,000円でご購入ください。

※非会員臨床研修医・非会員学生は、証明書提示必須
※参加カテゴリーに該当しない方（子供含む）は、ご参加いただけません。

ご入会について

学会ホームページよりお手続きください。 URL： <http://www.ago.ac/>

入会金、年会費は正会員・準会員では異なります。詳しくはホームページをご覧ください。

■ 準会員入会資格者 → 臨床研修医、学生（社会人学生を除く）

会場へのアクセス



東京国際フォーラム

〒100-0005
東京都千代田区丸の内 3-5-1
TEL.03-5221-9000

交通のご案内

- JR 有楽町駅より徒歩 1 分
- JR 東京駅より徒歩 5 分（京葉線東京駅と地下 1 階コンコースにて連絡）
- 有楽町線有楽町駅より徒歩 1 分（出口 D5 と地下 1 階コンコースにて連絡）

お問い合わせ

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 平日 10:00～17:30

学術大会に関するお問い合わせ

TEL：03-3261-0474／FAX：03-6675-9539／E-mail：gakuju@ago.ac

第 37 回 日本顎咬合学会 学術大会・総会

公開フォーラムⅠ

2019.6.22 (Sat) 13:30 ~ 16:30
東京国際フォーラム ホール C

申込期間 2019.4.1 (Mon) ~ 5.31 (Fri)

申込方法 専用フォームまたは FAX (03-6675-9539)

※学術大会へ参加する方は、参加証でご入場いただけます

ラグビーワールドカップ2019を応援しよう！ スポーツ歯学におけるサポート



松崎 浩成

日本顎咬合学会 広報委員長

田村 一博

ラグビーマガジン編集長

上田 秀朗

日本顎咬合学会理事長

2019年1月6日(日)に、東京駅近くの会議室にて、第37回日本顎咬合学会学術大会・総会 公開フォーラムⅠ「ラグビーワールドカップ2019を応援しよう！スポーツ歯学におけるサポート」にご登壇いただくベースボールマガジン社ラグビーマガジン編集長の田村一博氏をお招きし、講演内容とラグビーワールドカップ2019についてお話を伺いました。

スポーツデンティスト

松崎：今回の公開フォーラムⅠのテーマはスポーツデンティストです。日本初のラグビーワールドカップ開催、上田理事長がラグビー経験者であることもあり、このプログラムを企画しました。この競技はコンタクトスポーツですから、外傷予防にマウスガードを思い浮かべると思うのですが。

田村：そうですね。日本ではマウスガードの着用が13～19歳まで義務化^{*1}されています。また、ラグビー先進国であるニュージーランドでもマウスガードの装着は国際試合やプロ以外は義務化されています。ニュージーランド国内の試合中に、マウスガードを装着していないとペナルティーをとられますよ。

上田：そうですか。しっかり浸透しているんですね。

田村：選手の安全性について強く言われているので、その予防対策に何が有効かということを考えて、マウスガード着用が義務づけられました。

上田：今回、登壇されるスポーツ歯科専門家住吉周平先生の講演ではスポーツによる口腔内の外傷やマウスガードの装着などによるその予防について、詳しく聴くことができると思います。

松崎：僕はアメリカンフットボールをやっていたのですが、30年以上前ですかね、所属していた関東学生アメリカンフットボール連盟では健康面に関する規則や管理がすごくしっかりとしていまして、今で言うプロリーグのチームドクターのような方が来て、いろいろと指導してくださったのですが、その方にマウスガードの装着も勧められました。ただ、当時は既製品を使用していたのですが、今はどうですかね。

※1 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会：平成30年改訂版 競技規則 第五部 19歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則：50, 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（東京）、2018。

田村：同じだと思います。ラグビー協会が歯科医院でマウスガードを作製することを勧めるということもあります。

松崎：ニュージーランドではどうなのでしょう？ 選手個々の咬み合わせを考えてマウスガードを作っているのか気になりますね。

上田：少し前までは、スポーツ全般で歯をくいしばったほうが力を発揮できる、最高のパフォーマンスができると考えられていました。重量挙げなど力やバランスが求められる場面では、歯をかみしめると関節固定が促進され体位が安定するので有効ですが、短距離走やスピードスケートなどでは関節が固定されるため、スムーズな動きが抑制され十分なパフォーマンスを発揮できない場合があるそうで

す。上半身のスムーズな動きを求められるゴルフではスイングの時に「舌」を出している選手もいるそうです。咬み合わせがスポーツにどう影響するか、その辺りは小出馨教授（日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座）に講演いただきます。

松崎：そう考えるとマウスガードも既製品が誰にでも有効ではないのでは、という疑問がありますね。

上田：既製品のマウスガードはコンタクトしたときにプロテクトするもの、つまり外傷の防止であって、咬み合せについては考えられてなさそうですね。スポーツ選手一人ひとりに合うマウスガード作製については、歯科技工士の野見山和貴先生が登壇してくださるので、詳しくご説明いただけると思います。

選手の話聞きいてみたい

松崎：マウスガードを使用してプレーしている選手の話を知りたいですね。私がアメリカンフットボールでマウスガードを使用したときは、苦しかった。だからフェイスガードにぶら下げていて着けない人が多かった。レフリーも何もいいませんでしたし、今テレビなどでラグビー選手を見るとみんな装着していて、プレーが切れたときだけ外している。実際どうなのか気になりますね。

上田：私がラグビーをしていた30年前くらいかな、当時はやっと高校生のヘッドキャップ着用を義務づけられたくらいで、マウスガードはありませんでしたからね。今の選手の声を聞いてみたいな。

田村：聞いてみます。具体的にどんな質問をすればいいですか。

松崎：マウスガードを装着していると、例えば安心感があるのか、いざという時に装着しているのとしていないのでは力の入り方が違うのか、などですかね。

田村：多分、今の大学生くらいだと、小さな時からマウスガードを装着しています。私の子どもも小学校1年生から使用しています。だから着けるのが当たり前で着けていないと怖いくらいだそうです。

松崎：そうなんですか。

田村：サントリーサンゴリアスのマット・ギタウ選手は小さな頃、お母さんにラグビーは危ないから必ずヘッドキャップを着けるようにと言われて、それ以来ずっと着けてプレーしているそうです。ゴールキックの時だけ外す

のですけど、それ以外の時は着けとかなないと落ち着かない、それがないと不安でプレーできないと言っているそうです。今の子どもたちはヘッドキャップもマウスガードも付けるのが当たり前になっていると思います。ラグビースクールでもヘッドキャップとマウスガードを忘れたらコンタクト練習をさせないと徹底しているようです。ですからベテランの選手とは感覚が違うでしょうから、その辺の話を含め聞いて、講演の時にお話できればいいですね。



田村 一博 氏



松崎 浩成 氏

ラグビーワールドカップ 2019 を応援しよう！

松崎：ラグビー日本代表の近況を教えてください。

田村：ラグビーワールドカップ日本代表に関しては、第三次メンバー発表があり、だいたい大枠が見えてきた感じです。これからラグビー国際大会「スーパーラグビー」があり、サンウルブズ^{*2}が出場します。そこでのパフォーマンスを含めて、8月終わりが9月のはじめ頃に最終的な日本代表が決まります。今は選手たちが代表の枠を競っている感じですね。

松崎：先日、あるラグビー選手の記事がでてたんですけど。

田村：正月はすごかったですね、ワールドカップイヤーということでいろいろな新聞が特集を組んでくれて。

松崎：記事の中に日本は8強も夢じゃないのではないかと

と書かれたものもあったのですが、どうなんですかね。僕は今回も難しいじゃないかなと思ってます。

上田：決勝リーグいけそうですね。

田村：ギリギリのところだと思います。抽選で日本（世界ランキング 11 位）はプール A に組み分けされ、アイルランド（2 位）、スコットランド（7 位）、サモワ（16 位）、ロシア（19 位）、と試合をします。ランキング上位のアイルランドとスコットランドのどちらかに勝てば可能性がありますが、サモワも侮れない。

松崎：私がなぜ厳しいと感じているかというと、前回大会（ラグビーワールドカップ 2015）で優勝候補の南アフリカに勝ったのに 1 次リーグ敗退という結果に終わってしまったことにあるんです。

上田：そうそう。確かあの大会では 3 勝したのに勝ち点で同じ組の南アフリカとスコットランドを下回り敗退してしまっ。あれだけのパフォーマンスをしながらですよ。

松崎：前回大会の番狂わせがなければ、ただの挑戦者でいられたんですけどね。でも、今大会では相手も警戒して全力できますよね。

田村：確かに世界ランキングのトップ 5 は実力も実績も突出していますが、それ以下のチームは拮抗していて、ですから日本よりランキング上位の 2 チームのどちらかに勝てれば、決勝リーグに進む可能性が高くなります。それに今回は開催国ということで、日程的にも余裕があり、移動距離も少なく、コンディションを整えるには他のチームよりアドバンテージがあります。

上田：それは期待できますね。会場は日本全国で何力所あるのですか？

田村：12 力所^{*3}です。

上田：日本全国で盛り上がりますね。

ラグビーワールドカップ 2019 の見所

上田：今のラグビーの試合を見ていると、試合のテンポがめちゃくちゃ速くなりましたね。攻撃が何重にもたたみかけるように展開して、スピードが速くて見ていて面白い。

田村：ゲームが切れなくなってきましたね。昔に比べてもホイッスルが吹かれるまでの時間がすごく長くなっているし、パスの回数も多い。まず、コンタクトの数が増えているので。

上田：そこで、今回のラグビーワールドカップの見所といえますか、日本代表で注目の選手など、少し教えていただ

※ 2 ワールドカップ 2019 日本大会へ向け、選手のレベルアップを目的としたラグビー日本代表、およびそれに準じる代表候補の選手などで編成するチーム

※ 3 会場：札幌ドーム（北海道）、金石鶏住居復興スタジアム（岩手県）、熊谷ラグビー場（埼玉県）、東京スタジアム（東京都）、横浜国際総合競技場（神奈川県）、小笠山総合運動公園エコパスタジアム（静岡県）、豊田スタジアム（愛知県）、東大阪市花園ラグビー場（大阪府）、神戸市御崎公園球技場（兵庫県）、東平尾公園博多の森球技場（福岡県）、熊本県民総合運動公園陸上競技場（熊本県）、大分スポーツ公園総合競技場（大分県）

けますか。

田村：今、ボックスで世界レベルと評価があり注目されているのが福岡堅樹選手、お父さんが歯科医師です。彼は加速力が飛び抜けていますね。フォワードですとキャプテンの Michael Leitch 選手ですかね。今と昔でよく比較されますが、今の選手は、体力や筋力、持久力といったものが優れている。

上田：元日本代表で明治大学ラグビー部 OB 会長の森 重隆さんと話す機会がありまして、「(森会長が全盛期だったら)今のラグビー日本代表になれますか」って聞いてみたんですよ。そうしたら「なれるわけないでしょう。当時の日本代表と今の日本代表が試合をしたら、何回試合をしても勝てないよ」と言ってました。それくらいレベルが上がっているんですね。

松崎：日本代表のフォワードが世界レベルになった。一昔前と比較すると考えられないほどレベルが上がりましたよね。

田村：今の日本代表にみられる飛躍的な成長の背景には、2016 年からのスーパーラグビーへの出場ということがありますね。前回のワールドカップの直後からはじまったのですが、もう 3 シーズン、日本の選手たちも経験していますので、世界との差を縮めたきっかけはこれが一番大きいですね。

上田：その経験から世界レベルのプレーではコンタクトがどれほど強いかということを経験した選手たちがわかってきたのじゃないかな。

田村：そうですね。慣れというのが一番大きいでしょう。あと、想像がつく、世界レベルのチームと試合をするので、



上田 秀朗 氏

まさにトップのニュージーランドであれば、これ以上のプレーはないわけですから。その経験が選手たちの自信につながるのではないでしょうか。

上田：田村さんの講演では、ラグビーワールドカップ 2019 の見所を詳しく紹介していただきたいですね。日本代表に限らず、海外で注目されている選手やチームを紹介していただけたら、日本戦以外でも大会全体を楽しんで観戦してもらえんじゃないでしょうか。

松崎：そうですね。ラグビーはポジション毎に求められる体格や運動能力が違いますよね。各ポジションの役割を詳しく、一歩踏み込んで解説いただけたら、今までとは違った視点で試合を楽しめるのかなと思います。

上田：今日はお忙しいところありがとうございました。

～ プログラム ～

13:30 ～ 14:05 (35 分)	スポーツによる口のケガとその予防 住吉 周平 (スミヨシ歯科口腔外科こども歯科)
14:05 ～ 14:40 (35 分)	アスリートアントラージュと歯科技工 野見山 和貴 (大分県歯科技術専門学校)
14:40 ～ 14:55 (15 分)	休憩
14:55 ～ 15:45 (50 分)	ワールドカップが世界を魅了する理由 日本代表躍進の条件 田村 一博 (ベースボールマガジン社)
15:45 ～ 16:25 (40 分)	スポーツに噛み合わせがこんなに影響する 小出 馨 (日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座)

第 37 回 日本顎咬合学会学術大会・総会 公開フォーラム I

URL : <http://www.ago.ac/37th/menu/koukaiforum.html>

第37回 日本顎咬合学会 学術大会・総会

公開フォーラム II**2019.6.23** (Sun) 9:15 ~ 16:30
東京国際フォーラム ホールC

申込期間 2019.4.1 (Mon) ~ 5.31 (Fri)

申込方法 専用フォームまたはFAX (03-6675-9539)

※学術大会へ参加する方は、参加証でご入場いただけます

午前は、高齢者の自立支援を主導する日本自立支援介護・パワーリハ学会との共催で、公開フォーラム「自立支援歯科学 ―要介護高齢者の自立支援と咬合の回復」、午後は、さらに介護者・市民にもわかりやすく役立つ、公開フォーラム「認知症／寝たきりを変える『食べる力』」を開催します。

この一連の公開フォーラムには、午前6人、午後11人、総会司会の南清和先生を合わせて、なんと18人が登壇します。それも医師6名、歯科医師9名、他職種3人という多彩な顔ぶれです。

自立支援歯科学 ― 要介護高齢者の自立支援と咬合の回復**【午前の部】****9:15 ~ 12:00**

多職種がこぞって高齢者の自立支援を目的に力を合わせ、咬合の回復がその重要なファクターとなるという認識を共有しようというセッションです。

栗原 正紀 (社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院)

竹内 茂伸 (錦海リハビリテーション病院)

高森 亜矢子 (高森歯科医院)

長田 耕一郎 (医療法人相生会 金隈病院)

大里 めぐみ (社福 七峰会 障害者支援施設山郷館くろいし)

竹内 孝仁 (国際医療福祉大学大学院)

コーディネーター：南 清和 (医) 健志会ミナミ歯科クリニック)

コメンテーター：竹内 孝仁

認知症／寝たきりを変える「食べる力」**【午後の部】****12:50 ~ 16:30**

要介護者の生活を変える力を秘めた「食べる力」にフォーカスし、介護者や市民にも楽しんでいただけるプログラムです。

◆Part1 自宅での介護

松本 一生 (医療法人圓生会 松本診療所)

伊藤 憲祐 (あやめ診療所), 大坪 岳史 (東京医科歯科大学)

亀田 行雄 (医) D & H かめだ歯科医院)

◆Part2 食べる喜び

高山 英紀 (たかやマルシェ代表 (J-Tak 株式会社))

西田 哲也 (西田歯科医院)

石 佳弘, 鄭 繼祥

◆Part3 健康長寿のために

西田 亙 (にしだわたる糖尿病内科)

飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構)

コーディネーター：村岡 秀明 (村岡歯科医院) / 南 清和

2018 年度 支部学術大会 報告

北海道支部



本年度の北海道支部学術大会は9月に起こった北海道胆振東部地震の影響が懸念されながらも、無事に開催することができました。一般口演は例年にない8演題のエントリーがあり、内容的多岐にわたり充実した発表となりました。また、テーブルクリニックでは北海道医療大学准教授の門貴司先生による「歯周治療の難敵～垂直性骨吸収と根分岐部病変～」、および私、太田祥一による「顎位治療を究める～顎機能異常・顎関節症患者への対応のため～」

を行い、どちらも盛況のうちに終了することができました。特別講演Ⅰでは、「インプラントの咬合をディスカッションする」と題して、高橋徹次先生、吉村治範先生、三上格先生（いずれも北海道支部理事）、長崎大学歯学部准教授の黒嶋伸一郎先生の4名で行い、活発なディスカッションがなされました。更に、特別講演Ⅱでは日本顎咬合学会らしく「三位一体で臨床の向上を図る」をテーマとし、佐々木ミッシェル先生（北海道支部理事）、歯科技工士の垂水良悦先生、藤原匡剛先生、本会指導歯科衛生士の村上恵子先生に「三位一体でメンテナンスを考える」についてご講演いただきました。本年度は164名の参加および22社の企業の皆様にご協賛をいただき、盛会のうちに終了しました。



東北支部



11月25日（日）宮城県歯科医師会館にて第24回日本顎咬合学会東北支部学術大会を開催いたしました。テーマに「歯の Longevity を考える ～患者さんとの長期にわたる関わり合い～」と掲げ、山口幸子先生は歯科衛生士の立場から「長期的安定を目指した口腔衛生管理を考える」、遊亀裕一先生は歯科技工士の立場から「歯周組織にやさしいクラウンを目指す」、亀田行雄先生は歯科医師の立場から「本当のチーム医療 ～その補綴で本当にいいの？～」と題し、それぞれの立場から提言をいただきました。山口幸子先生は、歯科衛生士としてすべき全てを網羅した内容であり、大変わかりやすい講演でした。遊亀裕一先生からは四半世紀を超える長期症例等を提示していただき、歯科技工士、歯科衛生士、歯科医師間のコミュニケーションがいかに大事かについてお話しいただきました。また亀田行雄先生には、患者さんと医療側にはドラマがあり、そのドラマに俯瞰的に気付く大切さを提言していただきました。涙する歯科衛生士もいるほど感動的な講演でした。

今回初めての取り組みとして、東北支部会員が行う有料ハンズオンセミナーを併催いたしました。歯科衛生士向けに、山形の赤塚裕美先生、橋本明美先生による「びびりよヒヨコ歯科衛生士のためのシャープニング & SRP ハンズオンセミナー」、歯科技工士向けに仙台の平栗布海先生による「等脚台形法の応用模型分析」を行いました。認定医研修会67名、学術大会には163名が集い盛況のうちに閉幕いたしました。

今回初めての取り組みとして、東北支部会員が行う有料ハンズオンセミナーを併催いたしました。歯科衛生士向けに、山形の赤塚裕美先生、橋本明美先生による「びびりよヒヨコ歯科衛生士のためのシャープニング & SRP ハンズオンセミナー」、歯科技工士向けに仙台の平栗布海先生による「等脚台形法の応用模型分析」を行いました。認定医研修会67名、学術大会には163名が集い盛況のうちに閉幕いたしました。



関東・甲信越支部

今年は大会長の亀田行雄先生、実行委員長の神山剛史先生を中心に準備を行ってきました。メインテーマには『日本から発信する世界水準の歯科臨床!!』を掲げました。日本顎咬合学会会員の大多数は臨床に携わる開業医が占めるので、今回のプログラムも先生方に満足していただける内容を意識し、テーブルクリニック、ハンズオンなども併設しました。昨年に続き歯科

技工士のセッションも行いました。これにより文字通りの三位一体の支部学術大会になったのではないかと自負しております。次回の支部大会も実りある支部大会になるよう努力して行く所存でございます。今後とも、どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今回は430名に参加いただき、成功裡に閉会することができました。会務運営・プログラム立案にご尽力をいただきました支部理事、役員の先生方、協賛展示をいただきました賛助会員の皆様、そしてご講演を快く引き受けていた講師の先生方のお力添えがあつてのことだと思います。最後になりましたが、心よりお礼を申し上げます。

中部支部

12月16日(日)10時よりウインクあいちにて中部支部学術大会を開催いたしました。

午前中の基調講演に5-Dでも有名な北島一先生(静岡県磐田市開業)をお招きし「再生治療を活かした包括的歯科治療」と題して講演いただきました。さすがに高名な先生であり会場は歯科衛生士も含めてほぼ満席の状態になりました。昼食後から会員発表に移りましたが5名の先生方に順次発表

していただき、日頃の臨床成果を提示していただきました。午後には今回から初の試みとして歯科衛生士部会を独立した形式で別室にて行うように企画いたしました。こちらでは、基調講演として小林明子先生にお願いし「今また、歯科衛生士の視点から歯科医療を再考してみよう」と題して講演いただき、その後2名の方が会員発表をしました。発表後にはディスカッ



ションを設けて日頃の診療での問題解決やアドバイスなどをいただき、参加された歯科衛生士のモチベーションも高まったことと思います。大きなトラブルもなく無事終了し、理事執行部の方々には心より感謝いたします。



近畿・四国・中国支部

近畿・中国・四国支部（以下、近畿支部）学術大会を2018年11月11日（日）に開催いたしました。支部の学術大会としては今回で24回を数えます。今回はテーマを「三位一体で学ぶ大切さ」として、臨床に活かす基礎を学ぶ、また発展的な内容に触れる機会とすべく歯科医師・歯科技工士、歯科衛生士の講師による特別講演、会員発表5題にてプログラムを構成しました。メインホールでは歯科技工士講演を寺尾登喜雄先生に「Articulation 歯科技工士から見る咬合 咬合器の変化に伴い、技工士のすべき事」と題して今後デジタル化して行く補綴作業の中でも、非常に重要なウエイトを占める咬合について意義深い講演をいただきました。

続いて、歯科医師特別講演は洪性文先生に「サイナスリフトのイノベーション Hydraulic Liftを用いたクリスタルアプローチの可能性」としてラテラルアプローチと比較、Hydraulic Liftを用いた診断基準や術式戦略を豊富な症例を交えて講演をいただきました。別室会場において歯科衛生士対象講演を認定歯科衛生士の原野昌代先生を筆頭として7名、5題を午前・午後を通じて講演いただきました。会員発表は歯科医師4名、歯科技工士1名の計5題にて、いずれの報告も質が高く活発な質疑応答が交わされました。

当日は200名が集い、成功裡に閉会することができました。最後になりましたが、会務運営・プログラム立案にご尽力をいただきました支部理事・役員の先生方、協賛展示をいただきました賛助会員9社の皆様に心より御礼を申し上げます。



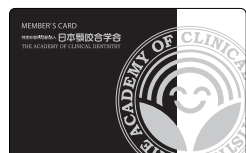
九州・沖縄支部

2018年12月9日（日）、福岡市の繁華街である天神のエルガーホールにて、九州沖縄支部学術講演会を開催しました。今年度は「チームで取り組む！歯科医療!!」というテーマのもと歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手なども参加していただき、317名のご参加をいただきました。歯科医師、歯科技工士対象特別講演は、大谷一紀

先生と同クリニック勤務の歯科技工士 湯浅直人先生に「時代の天然歯審美修復最前線」というテーマで、歯科衛生士対象特別講演は、加々美恵一先生と依木勉先生に咬合学の基礎について、カガミ歯科勤務の歯科衛生士 大野真美先生には歯科衛生士が使用するマイクロスコープのメリットについて講演をしていただきました。さらに山下素史先生に「再生療法にレーザーを用いるという新たな可能性」、樋口克彦先生には「前歯部充填を再考する」というテーマでテーブルクリニックをしていただき、若手歯科医師を中心に多くのご参加をいただきました。他にも会員歯科医師5題、会員歯科衛生士3題の発表もあり、大盛会のうちに終了となりました。今年度は、歯科医師に加えて、コデンタルスタッフの方々に多く参加していただき、まさに「チームで取り組む！歯科医療!!」に相応しい大会でした。次年度もチーム医療をテーマにコデンタルスタッフも参加していただける内容となる予定ですので、ぜひとも皆さんで参加の程よろしくお願い致します。なお、参加頂いた会員の皆様、運営協力していただいたディーラーの方々および企業の方々には大変感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

◆ 2019 年度 各支部の事業予定 (自 2019 年 4 月 1 日～至 2020 年 3 月 31 日)

支部名	区 分	開催日	会 場	内 容、講師等
北海道	認定医 教育研修会	2019 年 11 月 9 日 (土)	北海道歯科医師会館 (北海道札幌市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 申 基 結 先生 (明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野教授) 水上 哲也 先生 (福岡県開業)
	支部学術大会	2019 年 11 月 10 日 (日)	北海道歯科医師会館 (北海道札幌市)	未定
東北	認定医 教育研修会	2019 年 11 月 30 日 (土)	宮城県歯科医師会館 (宮城県仙台市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 申 基 結 先生 (明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野教授) 谷口 威夫 先生 (長野県開業)
	支部学術大会	2019 年 12 月 1 日 (日)	宮城県歯科医師会館 (宮城県仙台市)	未定
関東 甲信越	認定医 教育研修会	2019 年 10 月 19 日 (土)	ベルサール東京日本橋 (東京都中央区)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 関野 倫 先生 (日本歯科大学生命歯学部歯周病学分野准教授) 谷口 威夫 先生 (長野県開業)
	支部学術大会	2019 年 10 月 20 日 (日)	ベルサール東京日本橋 (東京都中央区)	未定
中部	認定医 教育研修会	2019 年 11 月 16 日 (土)	栄ガスビル キングルーム (愛知県名古屋市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 関野 倫 先生 (日本歯科大学生命歯学部歯周病学分野准教授) 水上 哲也 先生 (福岡県開業)
	支部学術大会	2019 年 11 月 17 日 (日)	栄ガスビル 栄ガスホール (愛知県名古屋市)	テーマ:「デジタル VS アナログ ～生き抜くために必要な歯科医師 歯科技工士の知識～ (仮)」 佐藤 幸司 先生 (佐藤補綴研究室) 山田 和伸 先生 (カナレテクニカルセンター) 歯科衛生士講師
近畿 中国 四国	認定医 教育研修会	2019 年 11 月 3 日 (日)	AP ホール (大阪府大阪市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 申 基 結 先生 (明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座歯周病学分野教授) 谷口 威夫 先生 (長野県開業)
	支部学術大会	2019 年 11 月 4 日 (月・祝)	AP ホール (大阪府大阪市)	未定
九州 沖縄	認定医 教育研修会	2019 年 12 月 7 日 (土)	エルガーラホール (福岡県福岡市)	テーマ:「心地よく咬むために土台を作る―ペリオを極める―」 関野 倫 先生 (日本歯科大学生命歯学部歯周病学分野准教授) 水上 哲也 先生 (福岡県開業)
	沖縄県主催 認定医研修会	未定	未定 (沖縄県)	未定
	支部学術大会	2019 年 12 月 8 日 (日)	エルガーラホール (福岡県福岡市)	未定



◆ 会員カード発行のお知らせ

平成 24 年度より会員カードを発行しております。学術大会・咬合フォーラム・研修会などの受付手続きや単位申請(申請方法は会によって異なります)に必要となりますので開催時には必ずご持参頂きますようお願いいたします。

◆ 学会ホームページの「会員専用ページ」をご利用ください

- ・勤務先・自宅・お届け先など登録内容の確認・変更
- ・認定資格・単位取得状況の確認
- ・年会費のお支払(カード決済)、お支払状況の確認
- ※コンビニ・郵便振替をご希望の方は事務局までご連絡ください

- ・2019 年度の年会費の納入がまだお済みでない方は、至急お振込みをお願いいたします。
- ・過去に未納分がございますと、認定試験、認定医の更新、学術大会への参加ができませんのでご注意ください。
- ・学会からの発送物は郵便及びメール便を利用しています。メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合がございます。勤務先の変更、転居等登録内容に変更が生じた場合は、至急変更のお手続きをお願いいたします。
- ・「会員専用ページ」のご利用には、会員 ID (会員 No) とパスワードが必要です。ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。